

全日本吹奏楽コンクールについてのQ & A (2014 年度版)

全日本吹奏楽コンクールにおいて、課題曲及び自由曲を演奏するにあたり、加盟団体の皆さまから多くいただいたお問い合わせに、Q & Aでお答えします。ご質問や下記内容以外にお問い合わせがありましたら、会員連盟・支部を通じてお願いいたします。

◆課題曲・自由曲について◆

Q 1 少人数バンドが、全日本吹奏楽コンクールにつながる部門に出場したいと考えています。もし、課題曲のスコア上の楽器及びパートが欠けてしまう場合は、他の楽器で演奏することは認められますか。

A 1 欠けてしまう楽器及びパートがある場合は、演奏しようとする課題曲に使われている他の楽器で演奏することは認めます。

補足① 欠けてしまう楽器の音域を変えないで演奏できる楽器がある場合は、その楽器で代用してください。

補足② 欠けてしまう楽器の音域を変えないで演奏できる楽器がない場合は、スコアに示された楽器で代用してください。

Q 2 自由曲で歌詞が入った曲は認められますか。

A 2 吹奏楽コンクールですから、歌詞の入った曲は認められません。ただし、スキヤット・ハミングは認めます。

◆課題曲について◆

(課題曲全般について)

Q 1 Fl. 1 と Fl. 2 の奏者は 1 名ずついますが、Picc. 奏者がいません。その場合は、Fl. 1 と Fl. 2 の奏者が、適宜 Picc. に持ち替えて Picc. パートを演奏することは認められますか。

A 1 楽譜どおりに演奏していれば、持ち替えて演奏することは認めます。

Q 2 Fl. 奏者が 3 名いて Picc. 奏者がいません。そのうちの 1 名が一部分のみ、Picc. に持ち替えて演奏することは認められますか。

A 2 楽譜どおりに演奏していれば、持ち替えて演奏することは認めます。

Q 3 Picc. 奏者が休みの部分を Fl. に持ち替えて Fl. パートを演奏する、管楽器奏者が部分的に打楽器を演奏するなど、持ち替えた楽器のパートを演奏することは認められますか。

A 3 楽譜どおりに演奏していれば、持ち替えて演奏することは認めます。

Q 4 B♭Cl. 奏者が 4 名います。Cl. 1、Cl. 2、Cl. 3 に 1 人ずつ割り当てて、4 人目は、Cl. 1、Cl. 2、Cl. 3 を適宜演奏することは認められますか。また、B. Cl. 奏者がいないので、B♭Cl. 奏者の 1 人が B. Cl. を適宜演奏することは認められますか。

A 4 楽譜どおりに演奏していれば認めます。

Q 5 B♭Cl. 奏者が5名います。Cl. 1に3名、Cl. 2に2名配置し、Cl. 3に奏者を割り当てないで、Cl. 3を他の楽器で代用することは認められますか。

A 5 B♭Cl. 奏者が3名以上いるので認められません。

Q 6 E♭Cl. パートが休みの場合は、Cl. 1のパートをE♭Cl. 奏者がE♭Cl. で音域を変えないで演奏することは認められますか。

A 6 指定の楽器ではないので認められません。

Q 7 6名いるB♭Trp. 奏者を、あるところまでは1番：2番：3番＝2：2：2と割り振り、それ以降は3：1：2と割り振ることは認められますか。

A 7 楽譜どおりに演奏していれば認めます。

Q 8 1パートを複数奏者で演奏しています。パッセージが難しい場合は、分割して演奏することは認められますか。

A 8 楽譜どおりに演奏していれば認めます。

Q 9 Perc. 奏者が4名必要な課題曲を演奏する予定ですが、3名しかいないため、指定の4パートを再編したうえで演奏することは認められますか。(演奏できない部分がそれぞれのパートで発生してしまうため)

A 9 楽譜どおりに演奏していれば認めます。

Q 10 Perc. パートを実必要人数(この曲は4名)以上で演奏することは認められますか。

A 10 楽譜どおりに演奏していれば認めます。

Q 11 スネアドラムのパートを、部分的に2台の楽器で演奏することは認められますか。

A 11 楽譜どおりに演奏していれば認めます。

Q 12 曲中、指定された打楽器で、異なるサイズを使い分けることは認められますか。

A 12 楽譜どおりに演奏していれば認めます。

Q 13 指定された調性以外の楽器(例えばクラリネットとトランペットについて、B♭管以外のA管・C管等)を使用することは認められますか。

A 13 調性が指定されているので認められません。ただし、チューバには調性の指定はありません。

Q 14 トランペットパートをホルネットで演奏することは認められますか。また、一部分をホルネットに持ち替えて演奏することは認められますか。

A 14 トランペットが無い場合、全曲にわたってホルネットで演奏することは認めます。ただし、一部分だけ持ち替えることは認められません。また、課題曲をホルネットで演奏した場合、自由曲でトランペットを使用することも認められません。

Q15 ホルンの代わりにメロフォン・アルトホルンを、ユーフォニウムの代わりにバリトンを使用することは認められますか。

A15 その楽器が無い場合は認めます。その場合、自由曲でホルン・ユーフォニウムを使用することは認められません。

Q16 Tuba パートの div. の部分は、奏者が一人の場合はどちらを演奏しても認められますか。

A16 どちらを演奏しても認めます。

Q17 solo と指定されている箇所を複数奏者で演奏することは認められますか。

A17 認められません。

(課題曲のオプションパートについて)

Q 1 オプションパートが欠けてしまう場合は、オプションパートを他の楽器で代用することは認められますか。

A 1 オプションパートは、指定された楽器以外での演奏は認められません。

Q 2 オプションパートを指定された楽器で部分的に演奏することは認められますか。

A 2 認めます。

Q 3 オプションパートの楽器を自由曲のみ使用することは認められますか。

A 3 認めます。